

小規模多機能型居宅介護 おきなぎの家

サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月8日
(13:50~14:10)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	0	2	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	2	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	0	8	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	3	0	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①初期の関わり方として、おきなぎの家を利用しようと思って頂けるご利用者宅を訪問し、おきなぎの家のサービスの説明 (一つの事業所で通い・訪問・宿泊を組み合わせ利用できる事、顔なじみの職員が対応する事、体験利用が出来る事) や料金の説明など行っている。ご利用者の情報やニーズを収集した上で、職員皆が共有できるようにフェイスシートや面接記録にケアマネ・管理者が記載している。記載したものをプリントアウトし回覧や口頭での説明も行い共有できるようにしている。

②・④訪問や送迎時などで、本人・家族から困っている事など聞かせて頂く機会があり、ご自宅での様子を見たり聞いたりする事で、今何が必要でどのように関わっていったら良いのか、ご利用者や家族のサービスに対する思いを受け止め、一旦事業所に持ち帰り、カンファレンスの時間を作り早急に考える事が出来ている。ご利用者の意向も大事にしつつ家族の気持ちも汲み取り、希望に沿えるようサービス調整をすると共に、調整できたサービスを提案し、その時にあった対応が臨機応変に出来ている。又ご利用者・家族の訴えについては、細かく記録に残している。

③体験利用期間中や、利用間もない方については、1対1になる時などその場面を作り、利用してみての感想を聞いている。どのように関わっていったら良いのか職員も分からない段階でもあるので、気づいた事などミーティングで話し合い共有し、細かく記録に残すようにしている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①遅くても利用開始前日までには、フェイスシートや面接記録を出し回覧しているが、準備してあっても読みきれていない時もあり、(前日の記録確認に時間がとられる事)口頭で必要な情報を確認する事もあった。回覧に目を通していても、人によって対応に差がある。日々の記録に対しても見ている人、見ている人もおり、見るより口頭で伝わっている事で、口頭で伝わりきれていない所が記録に入っている事もあるので、その部分での対応がバラバラになっている事もある。</p> <p>③ご自分から積極的に進んで何かして頂ける方より、声掛けが必要な方の方がどう対応していったらいいのかなど、本人や家族に話をする機会も積極的な方よりは多くなっている。記録に関しても、何か気になる事は細目に記録に残し共有している。体験利用され本契約までの間は慣れていない時期でもあり、今後どうかかわっていくのがいいのか、職員間でも話をしているが、本人や家族がそこまでサービスについてあまり考えておられないようであれば、事業所から積極的に向かうのもどうかと思っ躊躇してしまっていた所もある。断られるとそれ以上訪問も出来ていなくそのままになっていた。(だが、他事業所にはその理由については報告出来ていた。)</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・初期支援の関わりとして、職員皆が必要な情報を見る、聞く、伝える、記録に残す事がサービス提供者の証となる事を再確認していく。受け身ではなく積極的にご利用者一人一人との関わりを多く持ち、相手の事で知り得た情報は共有できるようにミーティングなどの場で意見交換していく。 ・記録について、見ている人見えていない人もおり、口頭で伝わっている事で関わりにバラバラな所も見られるので、ご利用者と関わっていく中で、気付いた事(観察力)大事な情報は(関わりを持つ上で)分かるように記録に残す。仕事に就く前には必ず記録を確認するという意識を一人一人持つ。 ・おきなぎの家を利用しようと考えておられる方の話しがあれば、本人・家族があまりサービスについて考えておられない場合でも、様子を見ながら利用という事ではなく、挨拶や顔を見に行くという関わりからできるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月11日
(13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	2	5	2	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	2	5	2	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	2	4	3	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	2	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①②③④ ケアプランの中に、長期目標や短期目標が記載されているので、ご利用者の目標について確認ができる状況である。又通いや訪問で、ご利用者と関わりを持つ中、例えば買い物に行きたいなど要望があれば、日程調整など行い対応できるようにしている。ご利用者から、何かさせてもらおう事があればすると言ってもらえる方には、食事の盛り付けや洗濯物たたみなどしてもらい、そこでの関わりの中で気づいた事は記録に残している。ミーティングなどを通じて職員間で共有出来ている。地域の行事など外出する機会があっても参加されないご利用者が、時間を置きながら声掛けをした結果外出して頂けた時は、声掛けからの様子と参加の様子を含め変化があった事についてミーティングで発言できていた。又、記録に対応した様子が入っているので、どのように対応したら外出してもらえるのかなど参考にでき、活かせる事も出来ている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①②③④ ケアプランができるまでに関わりを持つ事になるので、本人の目標などを把握せずに関わりを持っている事も多い。ケアプランがどこにあるのか分からない職員もあり、ケアプランの活用がしっかりできていなかった。ケアプランが計画作成者だけで作成していた所もあり、職員の方から提案するなど今までできていなかった。声に出して頂ける利用者様の対応は出来ていると思うが、声に出されないご利用者の「～したい」と思った関わり方が出来ていないと思う。又職員が引き出せていない部分もあると思われる。関わり方で、こうしていこうなどあれば少しの間はしっかりと記録に残していても、振り返りなどする前に記録が途切れてしまう傾向がある。職員が見て「こうしたいと思っておられる。こうしたらいいかな」と職員の枠にご利用者を当てはめている所もある。目標の「～したい」など傾聴はでき、関わりが持てているようであるが、実際実行が出来ていないので持てていないと思われる。現状ではお風呂を何時までになど業務優先になっている部分も見られる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者一人一人の個人ファイルに挟んであるケアプランを確認する。ケアプランをしっかり目を通す事で同じ方向性で対応が出来るようにする。対応していく中でケアプランの見直しが必要ではないか？と疑問に思う事を提案できるようにする。その為には、ご利用者の観察力を日々の関わりの中で身に付ける事で、一人一人のスキルアップに繋がるようにする。 ・業務優先である所をどのようにしていったら良いか会議などの場で見直し、ご利用者と関わりを持つ事で見えていなかった部分が見えるようにコミュニケーション力をつけていく。見えてきた部分については、共有できるように記録に残すなどしていく。職員の枠に利用者をあてはめるのではなく、利用者中心で気持ちに寄り添い時間ではなく本人のペースで、したい事に対応できる職員となる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月12日
(17:25~17:55)

3. 日常生活の支援

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	2	5	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	5	1	0	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	4	3	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	7	1	0	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①今までの暮らし(生活歴)がフェイスシートで確認出来ている部分と、関わりを持つ事でそれ以外にも把握できている部分もあり、フェイスシートにない情報は共有できるように記録に残している。10個以上と言われると数えて関わりを持っていないので分からないが、職員の関わり次第で把握している数は異なっている。</p> <p>②資格取得している職員が多いので基礎知識は身につけている。その方にあった介助方法で対応をしているが、家での様子、介助方法も参考にし、家族と職員の対応の仕方を統一するように配慮している。</p> <p>③言葉に出される方については、ミーティング時など記録にも残し共有できている。</p> <p>④⑤声に出して気持ちや体調不良の訴えがある方については、サービス調整など即時に行い、ご利用者の希望に沿うように対応出来ている。声に出すことが難しい方でも表情や検温、排泄面などを見て、いつもと違うと思う時は、家族や他職員に相談し対応できている。(必要なら受診の声掛け、段取りなども行っている)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①職員に個人差があり、一つでも多く自分からご利用者の事を知って伝達や記録に残す職員と、受け身的な職員との違いがあり、全体的には記録をしっかり確認できていれば把握は出来ている状態であるが、業務に追われている時は、確認も出来ていないと思われる。</p> <p>②ご利用者にあった方法で介助はしているが、時には手伝い過ぎている部分も見られる。(ご自分でも出来るが、お願いされると手を差し伸べてしまっている)</p> <p>③言葉に表されない方の対応で、言葉の裏側を察し把握するのが難しく共有できていないと思われる。一月に一回のカンファレンスでは、一人一人の全体的な様子を話しするが、毎日のミーティング時には、その日の通いや訪問時の様子を話す程度で、突き詰めての話しができていないと思われる。だが、ご利用者の担当職員とは気になる事について話しをしているが、記録に残せていない事もある。途中まではできているが総合的に見るとできていないと思われる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が積極的にご利用者と関わりを持ち、一つでも多く自分からご利用者の事を知ろうとする姿勢を持ち、知り得た事を共有できるようにし、事業所として一人一人のご利用者の情報がたくさん集まるようにする。フェイスシートに書き込み今後の参考にしていく。 ・報連相について、入浴担当職員や訪問に入っている職員に必要な情報が伝わっていない事があるので、職員一人一人がご利用者の大事な情報は伝えるという意識を持つ事。又、今伝えないといけない情報を優先し、後でも良い情報については後で話をするなど見極める力をつける。その為には、まず情報を自分止りにせず、伝える(報告・連絡・相談)事を徹底する。 	

事一③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月13日
(17:25~18:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	4	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	4	3	2	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	2	1	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①初回面接時に、ご利用者・家族から聞き取りが出来ており、聞いた分についてはフェイスシートに記載できている。初回面接時に聞いた事以外でも、日々の関わりの中で、ご利用者・家族から聞かせてもらう事もあった。その都度、ミーティングの場で報告や記録に残していた。おきなぎの家で見るご利用者同士の関係については、今日は、いつもに比べて言動や様子などが違うと気づき把握できている。職員が間に入る事や、場所を少し離れてもらうなど対応が出来ている。職員間でもその状況について共有できていると思われる。ご利用者同士で他利用者の事を話しておられる時もあり、そこからの情報で分かる事もある。</p> <p>②おきなぎの家を利用しながら、住み慣れた地域で在宅生活が送れており、ご利用者・家族との関係も切れないように支援している。</p> <p>③訪問や通い時などそれぞれの場面で、ご利用者から話を聞かせてもらっている。サービス量が多い方ほど、おきなぎの家が関わりを持っているので把握できている。現在登録しておられるご利用者は、活動的な方が少なく、ほとんどの方が何もなければご自宅で過ごしておられる事も把握できている。又、ケアプランの中にも、外出ができていないなどの項目も上げているので、ケアプランを見ることで把握できるようになっている。</p> <p>④民生委員や地域資源についてだいたい把握できている。(事業所ミーティング時に口頭で確認し合う)</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①ご利用者が地域で誰と関わりがあって、頼りにしておられるなど一部把握が出来ていない。(おきなぎの家の職員が利用者の周辺地域に住んでいると、そこからの情報で知り得る事はできるが、果たしてどこまでの関係なのかは推測でしか分からない部分もある)</p> <p>②サービスを使う事で地域との関わりが少なくなっており、ご利用者の中には、おきなぎの家を利用する事が外出機会にもなっており、利用される前はサロンに行っておられた方でも、外出機会が違った所(おきなぎの家)で持っているとされるのか、サロンに参加しようと思えない。事業所からも促しをしているが参加できていない。</p> <p>④全地区の民生委員の方の把握が出来ていない。(事業所近くの民生委員の方は把握できている)社会資源についても、だいたい言えるが知っているだけで、その方にとって必要とされる地域資源のサービス活用が不十分であった。困った事例に対して、事業所だけで抱え込んでサービスを調整している所もあった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の情報で知り得た事は、職員間で共有し、新しい情報についてはフェイスシートに書き込んでいく。 ・ご利用者と地域との関わりが途切れないように、地域行事には参加してもらえるように促しをし、サロンなど職員も一緒に参加できるようにしていく。おきなぎの家として、地域との関わりが持てるように行事などにも参加し、又おきなぎの家の行事にも参加してもらえるように呼びかける。少しずつ地域との接点を増やしていく。 ・ご利用者が住んでおられる所の民生委員の把握は必ずする。(他事業所に確認するなどして) ・社会資源について、どんな時にどんなサービスが受けられるのかなど、受け身や人任せにせず、率先して調べる(対応している事業所に聞くなど)調べた事を共有できるようにする。又、地域行事でご利用者と一緒に参加できる内容の物があれば調べ、必要時は関係機関に連絡するなどして職員からも情報が取れるようにする。 ・新規面接の時に、ご利用者・家族に利用される事を地域の民生委員に伝えても良いか確認をし、承諾していただける方は、地域の民生委員に伝え、何かあれば協力してもらえる体制作りをする。(特に独居の方) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月15日
(17:00~17:20)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	3	5	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	3	1	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	3	2	0	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	3	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①ご利用者の方で一定期間家族が留守にされる事があり、その期間一人では生活が不安な所も見られたので、包括支援センターに相談した所、地域ケア会議を開催する事が出来た。家族、事業所の計画作成者や、包括職員、駐在所、民生委員の方に参加して頂き、誰がどの曜日や時間に訪問するかなど相談できる機会が持て又、反省会も出来た。2回目の留守時には、傾聴ボランティアもお願いする事ができた。他のご利用者で、金銭管理が難しい方については、ご利用者・親戚の方にも話をし、又社協の職員から権利擁護事業についての説明をして頂ける機会が持て、今では社協の権利擁護事業を利用しておられる。</p> <p>②④小規模多機能の特性を活かし、その方にあったサービスを組み合わせ事もでき、臨機応変に対応出来ている。通い利用で来られていても、お昼から帰りたいと希望がある時は、その時々で対応出来ている。又、訪問の日であっても、健康状態が気になる方などあれば訪問追加なども臨機応変に対応出来ている。サービス追加に迷った時は、他職員と相談しながら対応もできている。例えば、訪問追加で朝と昼前に入る予定であれば、昼のミーティングまでの対応になるので、対応した職員から対応する職員へ申し送りが出来ている。</p> <p>③日々の関わりや記録の中から、気づいた事はミーティング等、月1回のカンファレンスで話し合いが出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①ある一部のご利用者だけでなく、社会資源をしっかり把握していれば、他利用者の方でも必要とするサービスがあるかもしれない。振り返るとうまく活用ができていないと思われる。</p> <p>②・④日中の臨機応変はできているが、夜間帯になると待機者が毎日いるものの、何かあれば行ける体制であってないような所もある。夜間帯の訪問対応が明確になっていない所もあり、臨機応変にと言われれば、出来ていない。職員数に限りがあり、当日までであれば何かしらの対応ができるが、当日になればご利用者・家族の希望に添えない部分がある。又、現状できないので、夜間の訪問については声がかけていない所もある。</p> <p>③全体としては出来ている方であるが、職員によって違いがあり全部ができているかと言うと、月一回のカンファレンスの時は出来ていると思うが、日々の業務の中でそれぞれに出しているが、それが記録として残っていない事があり、声掛けが必要な時もある。ご利用者と職員の1対1の対応の所に関しては、他の職員が分からない分、記録がなければなかった事になっている面もあると思われる。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所だけで抱え込んでしまう所もあるので、協力しえもらえるような資源はないか他事業所などにも相談する。住み慣れた地域で資源をうまく活用して、在宅生活が送れるように支援していく。 ・関わりの中で気付いた事や訴えなどあれば、記録に残すという意識を持って業務に就く。 ・夜間の訪問が必要になれば、職員数が足りなくなると予測されるので、人事に関する事については、上司に報告と提案し、職員配置を考えてもらえるようにしていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月16日
(17:20~17:35)

6. 連携・協働

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	4	0	4	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	4	1	0	4	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	3	4	1	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	3	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②事業所として主に参加しているのは管理者・計画作成者であり、介護職や看護職は直接関わりがないが、必要な事については情報を共有している。</p> <p>③今までは参加があまりできていなかったが、今年から徐々に参加できるようになっている。地域の消防訓練にも参加出来ている。又、地区清掃やゴミ当番を1ヶ月対応し、「朝早くから地区清掃にも参加して、こんな事までよーしなるわ」と同地区の方に声を掛けて頂けた。</p> <p>おきなぎの家で学んだ事を学習発表会で発表するとの事で、小学校より招待状も貰い、職員と利用者と一緒に参加することが出来た。</p> <p>④最近では、防災の勉強会で地域の方に回覧板で知らせるなどして呼びかけはしたものの、開始時間近くになっても参加される様子なかったので、同地区(班の方のみ)の方を対象に職員が一軒ずつ声掛けた結果、一名であったが、住民の方の参加があった。</p> <p>小学生や中学生が福祉学習で毎年来られ、一緒にレクリエーションをするなどして交流を図る事ができている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①現在は訪問看護を利用しておられる方はおられないが、福祉用具の事業所の方との担当者会議であれば、ご利用者担当の職員に参加してもらえる機会はあるものの、日程調整や時間帯の都合もあり参加できていない面もある。今後の課題ではあるが、参加できるような機会を作る。</p> <p>②自治体については、いつどこでやっているのか事業所として知っていない所もあり、参加できていない現状である。必要時は回覧板で確認と、又班長の方が必要事項について報告に来られるのを頼りにしていた。</p> <p>③徐々に参加は出来ているが、曜日によってはご利用者と一緒に参加ができない事もある。活動的なご利用者が少なく、参加されるまでに時間が掛る事もあり、他のご利用者の手前行きたくても行けていないご利用者もおられると思われる。</p> <p>④建物自体地域と密接しているが、出会って挨拶するくらいの関わりは出来ているが、地域の方が来てご利用者や職員と話をすることはできていない。イベントがあれば声を掛けられるきっかけはあるが、イベントがない時に見学など地域の方が寄ってもらえるような声掛けが出来ていない。事業所自体がインドアな状態があるので、地域との関わりがまだまだ出来ているとは言えない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、計画作成者以外にも参加してもらえる会議には、他職員も参加してもらえるようにする。(福祉用具追加などの担当者会議) ・おきなぎの家で何かイベントをする時は、地域の方に声を掛け参加してもらえるようにする。その為にはぎりぎりではなく、事前に声を掛けられるようにする。 ・地域とのつながりが欠けないように、参加できるイベントについては積極的に参加し、まずはそこからつながりを持ち、顔なじみになる事で次の声がかかるように、又事業所からも、イベント以外で、おきなぎの家に遊びに来てくれそうな方がいれば、積極的に声をかけていけるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月19日
(13:45~14:00)

7. 運営

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	2	4	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	3	0	6	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	2	6	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①毎月職員会議や業務改善会議などで、運営に関する事を課長や施設長・副施設長が話をされている。聞いて運営について知る機会はできている。</p> <p>②ご利用者からの意見など聞いた時には、ミーティングなどで伝えて、対応もできていると思われる。ご利用者の家族より、連絡ノート記入の仕方や記入者の名前を書いて欲しいと意見があった事に対し、職員間で話し合いを持ち、直ぐに対応し解決策が出来ていた。家族様に解決策を伝えると、「良かった。ありがとう」と言ってもらえた事が事業所として、変化のあった一歩で良かった。相談窓口に来られた方で職員の対応について苦情があり、直ぐに職員の話し合いの場を設定し、解決策を考え対応した。</p> <p>③運営推進会議では、特に気になるような意見や苦情はなかった。話しがあがった時には、出席した職員から他職員に話ができるような体制はできている。</p> <p>④地域行事や掃除については、参加できる部分については積極的に取り組みができたと思われる。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①施設の運営を基に事業所目標があり、個人個人の目標を立てるが、事業所目標を初年度に話すだけで終わり、又職員としての意見を出すことはできていない。思っているも積極的には言えていないと思われる。多数の場では言いにくい面もあり、そのままの状態になってしまっている。</p> <p>③事業所自体地域との交流がまだまだ出来ていない方であり、意見を言ってもらえるような関係作りもできていない。</p> <p>④地域に必要とされる拠点については、おきなぎの家自体を地域の方に知られていない面（「通い・訪問・宿泊」多機能の部分）があり、協働した取り組みが事業所からも出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の事を地域の方に知ってもらえるような機会を作っていく。まずは職員の顔から知ってもらえるようにコミュニケーションを積極的に取り、その流れから誘い誘われるような関係を作っていく。 ・運営についての話しができるように職員会議で提案し、相談できるようにしていく。 ・苦情や意見に関して、ご利用者や家族、地域からいつ話があるか分からないので、職員それぞれがしっかりとその事柄を受け止め、直ぐ答えないといけない事なのか、持ち帰って考えさせてもらっての返答でもいいのか見極める力を身につける。その為には、ご利用者・家族・地域と積極的にコミュニケーションをとり、話してもらえるような関係作りに努める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月20日
(17:30~18:10)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	5	2	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	6	2	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	1	5	1	2	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	1	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②長寿苑全体で行われる研修会には、ほとんどの職員が参加出来ている。長寿苑で行われる研修の中で、スキルアップ委員主催の研修会では、部署から2名ペアでこれまで2回発表した。その為にはパワーポイントの作成の仕方を教え教わり、又発表する内容をお互いに勉強し合う事もできていた。施設外の研修についても、1年に1回以上参加するよう努めている。</p> <p>③包括支援センター主催である会議などにも、調整がつく限り事業所としては、管理者・計画作成者が主として参加している。与謝郡小規模連絡会が2ヶ月に1回のペースで開催され、主として管理者・計画作成者が参加している。介護職や看護職については、与謝介護士交流会が開催される時に参加している。</p> <p>④リスクマネジメントの研修会に参加した職員主催で、部署内で研修会ができた。リスクに対する取り組みとして、部署の事故対策委員より、ヒアリハットにたくさん気づく事で、事故に至らないようにしていくという意識づけを、会議の場やミーティング時伝達し実行出来ていた。又、他部署よりヒアリハットの話聞かせて欲しいと講師の依頼があり参加した。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>① 外部研修についてはどちらかと言えば、上司から個人に研修の話があり、参加している研修が多い。自分で探して、積極的に参加するという職員が少なく、自発的な面では事業所の短所である。又、日々の業務に追われている事もあり、自発的に探しての参加ができていない。出張に行くと報告書を書かないといけないという事もあり、なかなか進んでの研修ができない。</p> <p>② 事業所には有資格者が多数おり、他にもスキルアップの為の資格取得があるが、日々の業務に追われているのも事実で、なかなか勉強して資格を取るという所まで至っていない現状である。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に関する内容の物が、事業所に届いた時、一定期間閲覧できるようにする。各自積極的に参加するという意識を持って目を通す。 ・1年に1回以上外部研修に参加するという目標を持ち、自発的に参加したいと思う研修を考える。 ・長寿苑の方に届く研修内容もあるので、行きたい研修があれば一声上司に声を掛ける。 ・積極的に研修会に参加し、スキルアップしていく事で、資格取得の繋がりになるようにする。 ・報告書を書くのが、自宅での作業となる所もあり、日々の業務の中で時間がある時には声を掛けあって、作成できる時間をお互いに作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成27年12月23日
(14:25~14:50)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒田 奥野 楠田 上山 森下 井上
嶋崎 太田 佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	0	0	9
②	虐待は行われていない	7	2	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	3	2	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	2	2	2	9
⑤	適正な個人情報の管理ができています	5	2	2	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①②身体拘束、虐待について身体拘束委員会を立ち上げており、マニュアルに全職員目を通して いる。基本を基に対応でき、事業所としては全職員①②していない。</p> <p>③身体面などでは、ご利用者が気にしておられる所など隠そうとしているような所は、聞き出さず、 見させて頂くのも、入浴などで介助している時に目で確認などし、必要な事は職員で共有し観察し ている。トイレやお風呂でご自分で出来る時は、離れずの距離で見守りしている。トイレではトイ レの外側、お風呂では脱衣場や浴室で何かをするようにして見守りが出来ている。</p> <p>④現在の登録のご利用者で、成年後見制度は利用してもらっていない。過去にもおられない。</p> <p>⑤職員からは情報が漏れないようにしている。他利用者の方から、今日は〇〇さん休み?と聞かれ た時も、職員からは漏らさないように声の掛け方にも注意しながら対応できている。 パソコンに利用者個人の情報が入っている事もあり、施設としてもパスワードを使うことで管理す るといふ所は出来ている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①②言葉の拘束についてマニュアルがあるが、事業所内でも出来ていない所があり、又自分では分からない言葉掛けに対し、他職員が注意できているかと言えばできていない。</p> <p>③過剰に介助をしてしまう事で、周りで過ごしておられるご利用者にその方の状態が分かってしまう事と、注目されてしまう事で情報が漏れていないようで漏れてしまっている所もあるのではないかと思われる。</p> <p>④ご利用者の中では必要な方もおられるかもしれないが、知識不足の所もあるかもしれない。</p> <p>⑤連絡帳やPDA（電子手帳で入力）、ご利用者のバイタル（血圧・体温）一覧が、ご利用者の目に着く所に置いてある事もあり、見えないように整理整頓が出来ていない。パソコンに関しては、職員一人一人のパスワードがあるが、パソコンから離れる時でもそのままの状態で離れている事が多く、もし外部の方が来所されパソコンが開きっぱなしになっていると、情報が漏れる事と、入力もできる状態になっているので、取扱いには十分に気をつけていく必要がある。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者個人の名前が分かるような物や、一覧表については、ご利用者に見られないように整理整頓を含め、保管場所を決める。 ・パソコンを使用しない時間は入力画面を閉じる。 ・ご利用者の事を伝える時は、離れた場所で伝える。又、訪問など行く時も「〇〇さん所に訪問に行きます」と伝えるのではなく、例えば地区名を伝え訪問行く事や、お迎えに行く事を伝える。 ・言葉掛けについては、例えば「待ってもらえませんか？」など理由を説明し、選択枝のある言葉掛けを、個人個人意識しながら対応していく。又、何気なく発してしまう事も考えられるので、お互い注意し合えるようにしていく。 ・成年後見制度が必要な方が、これから先あるかもしれないので、知識を身につける。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	与謝郡福祉会	代表者	長谷川 栄一	法人・事業所の 特徴	(法人) 与謝郡の福祉の担い手として、質の高い人材育成と職場環境の改善に努める (おきなぎの家) もうひとつの家という考えのもと、住み慣れた家・地域で安心して生活ができるように、1つの事業所で「通い」「訪問」「宿泊」と3つのサービスを柔軟に組み合わせ、顔なじみの職員が対応することで、安心できる生活を送って頂けます
事業所名	おきなぎの家	管理者	黒田 あすか		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	1人	0人	0人	1人	2人	7(6)人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			1・2、外部評価時に口頭にて説明を聞き、しっかりとできていると思った 3、内容が分からなかったが、口頭にて説明を聞き分かった 4、具体的に分かりやすくまとめある事が見て分かった	<ul style="list-style-type: none"> 項目に毎に上げている改善計画が達成でき、事業所や各個人がレベルアップしていけるようにする 地域を支え又地域に支えられながら交流を持ち、地域に根差した施設になれるように、日々の関わりを大事にしていく
B. 事業所のしつらえ・環境			0、前回の改善計画がどのような物なのか分からなかった。前回の仕組みと今回の仕組みが違う事が口頭にて説明を受け分かった 1、認知症あんしんサポート窓口の看板や、寿茶屋がある時は看板が置いてあるのも把握している。入りにくいと思った事はなかった 2、運営推進会議でも事業所の中に入らせてもらっており、居心地がいいと思っている。 3、事業所内・外に不快な音や臭いもない 4、事業所に行った際に、玄関の鍵は開いていた(管理者よ	<ul style="list-style-type: none"> 設備不良な所については、早急に相談しながら修繕し、安心してゆったりと過ごして頂けるようなおきなぎの家を作っていく 家族、地域の方、見学者などいつでも来訪があっても良いように整理整頓を常日頃から心がけておく 定期的にしつらえの見直しができ、ご利用者にとって居心地の良い空間や、移動しやすい動線となっているかなど、職員みんなで試行錯誤しながら今の状況に陥らないようにする

			り、口頭にて説明する。日中は鍵を開け、宿泊が無い時と、宿泊時夜間は鍵をかけている)	
C. 事業所と地域のかかわり			<p>0、前回の改善計画がどのような物なのか分からなかった。前回の仕組みと今回の仕組みが違う事が口頭にて説明を受け分かった</p> <p>1、地域で出会ってもしっかりと挨拶ができていた</p> <p>2、事業所「おきなぎの家」という事と、長寿苑の一つの事業所だと言う事も分かっている。サービス内容までは、分かっている人が多く思う</p> <p>3、相談しやすい場所と言う文言が、色々な意味でも取れるので、判断しにくい所もあった。場所と言えば、事業所の近くの住民は良いが、離れている地域の方にとっては、相談しやすい場所であるとは思えない。認知症あんしんサポート相談窓口を掲げているので、相談できる所である事は分かった</p> <p>4、一斉掃除など出て頑張っている姿を見た。運動会などにもご利用者と一緒に参加していた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりを大事にしながら、参加できるイベントには職員とご利用者と一緒に参加し、又地域の方にも、おきなぎの家で行なうイベントの時には、参加して頂けるように近所付き合いを心掛ける ・ご利用者、家族以外にも地域の方に、笑顔で挨拶がしっかりできるように、困った方がおられたら、ご利用者関係なく進んで声が掛けられるようにする

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>			<p>0、前回の改善計画がどのような物なのか分からなかった。前回の仕組みと今回の仕組みが違う事が口頭にて説明を受け分かった</p> <p>1、天候が良い時は外に散歩などしておられる姿を見た事があった</p> <p>2、チェックを付けた時は、分からないにしていたが、口頭にて説明を受け、実際に行われている事が分かった</p> <p>3、小・中学校の運動会や文化祭、学習発表会に参加しておられる姿を見た（同地区の民生委員より） 実際にその姿を見ていないので、分からなかった</p> <p>4、実際にかかわっている姿を見ていない為分からなかった（口頭にてかかわりを持たせてもらっていた事を管理者から説明をする）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ もう一つの家という考えの元、住み慣れた地域でサービスを組み合わせ、おきなぎの家での生活が中心ではなく、自宅での生活が中心となるように、利用者お一人お一人をアセスメントし、その方にあったサービスが提供できるようにしていく ・ 地域行事、サロンなど必要時は職員も一緒に参加できるようにしていく
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>			<p>0、前回の改善計画がどのような物なのか分からなかった。前回の仕組みと今回の仕組みが違う事が口頭にて説明を受け分かった</p> <p>1、評価シートに記載してある所は分かった。それ以外に今までどのような取り組みをしていたのかは分からなかった</p> <p>2、実際に事例検討をしていないと思う。報告は聞いた事がある</p> <p>3、地域での取り組みを一緒に取り組んだ事がなかったが、あ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営推進会議に出席して頂く関係者の方に、おきなぎの家のサービスや状況を知ってもらった上で、地域との関係性作りのアドバイスや、サポートをしてもらい、次年度何か一つでも変化があるように職員・運営推進会議メンバーで協力し、取り組めるようにしていく

			<p>れば取り組められると思う （管理者より説明、地域とのかかわりが事業所自体まだまだであり、課題でもあるので、かかわりが持てるようになれば、運営推進会議を活かした取り組みもできていくのではないかと思っている）</p> <p>4、分からなかった（会議で意見が出た場合はその都度職員に話をし、改善策を考えるようにはしていたが、最近では意見を頂いた事がなかったので、話し合うような事はしていなかったと、管理者より説明する）</p>	
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>			<p>0、前回の改善計画がどのような物なのか分からなかった。前回の仕組みと今回の仕組みが違う事が口頭にて説明を受け分かった</p> <p>1、見た事がないので分からない（実際にあることを管理者より説明する）</p> <p>2、実際に参加しているのか分からない（平田地区で行われた放水訓練や、防災無線により災害を想定した訓練に参加させてもらった事を、管理者より説明する）</p> <p>3、実際に地域で火災が起きた時の報告者として参加した（同地区の民生委員より）</p> <p>4、頼りになると思う。だが、いざとなった時に、その日のご利用者の人数もあり、対応しきれぬのかと思う。職員が増えた方がいいと思う。いざと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練が年2回は義務付けられているので、地域の方に参加してもらえるように計画し、実施できるようにする（机上訓練なども取り入れてみる） ・防災グッズで足りない物など把握し、随時購入できるようにしていく（備蓄の確認） ・事業所の防災計画を全職員しっかりと目を通し、いざと言う時に誰もが対応できるように日頃から身に付けておく（防災計画の見直しも含む）

			なった時には、少人数では移動など難しいのではないか。	
--	--	--	----------------------------	--